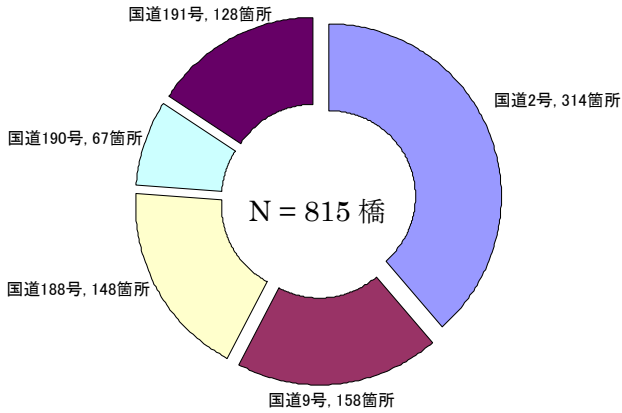


橋梁・トンネルの現状と  
その取り組みについて

平成 22 年 10 月  
中国地方整備局  
山口河川国道事務所

# 山口河川国道事務所管内の橋梁の現況（参考資料）

## 1. 山口河川国道事務所管内の橋梁箇所数



(H22.4.1現在)

場所	路線延長(km)	橋梁箇所数	橋梁数/10km
山口県内	460.3	815箇所	18箇所

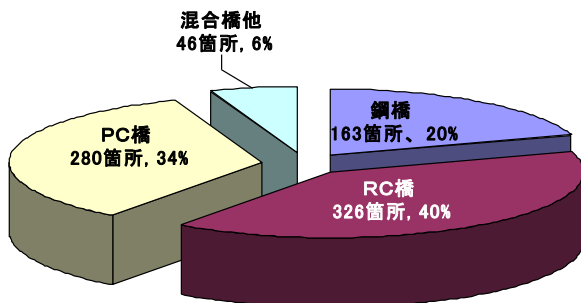
## 2. 橋梁の現況（上部工使用材料別）

管理橋梁合計		鋼 橋		R C 橋		P C 橋		その他混合橋等	
橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)
815	26,193	163	10,749	326	3,334	280	8,963	46	3,147

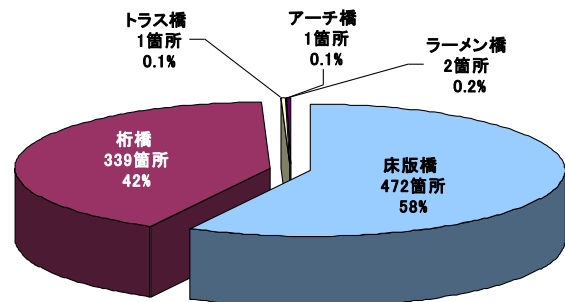
## 3. 橋梁の現況（構造形式別）

管理橋梁合計		床版橋		桁 橋		トラス橋		アーチ橋		ラーメン橋	
橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)	橋梁 箇所数	延長 (m)
815	26,193	472	7,921	339	17,984	1	48	1	5	2	236

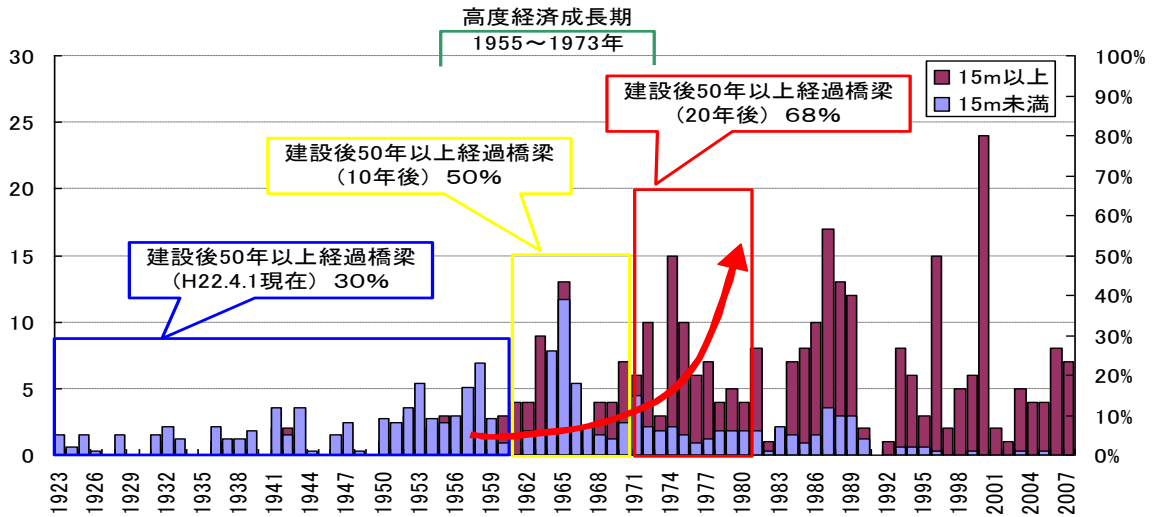
### 上部工使用材料別



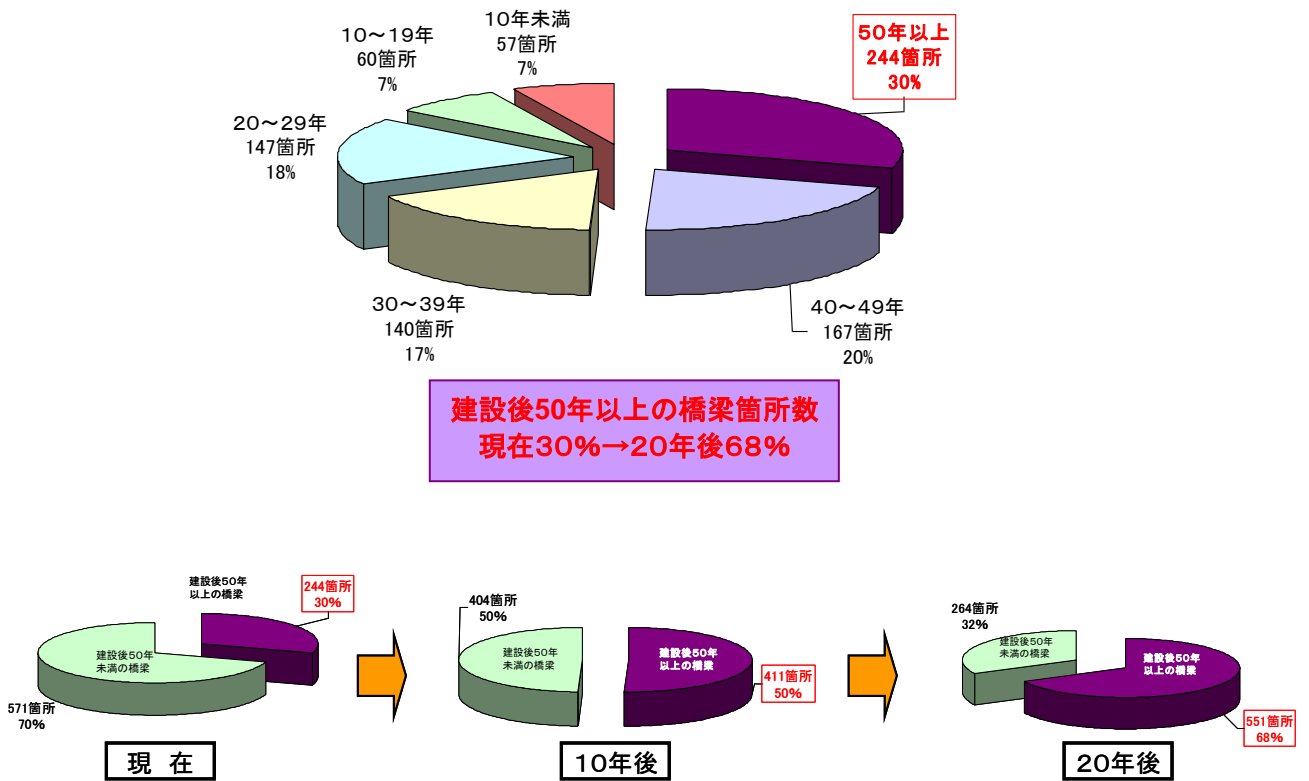
### 構造形式別



#### 4. 建設年次別の橋梁箇所数分布



#### 5. 経過年数別橋梁箇所数



- ・ 高齢化した橋梁の割合が20年後には現在の250橋（30%）から560橋（68%）と急増
- ・ 長寿命化修繕計画に基づいた橋梁補修の推進
- ・ 損傷が著しい橋梁（損傷ランクが高い橋梁）の補修を優先的に実施

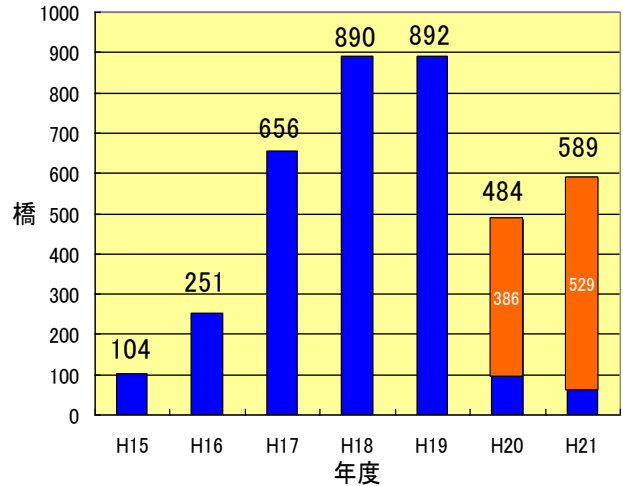
## 6. 定期点検の実施状況

直轄国道の橋梁では、2日1回の巡回と5年に1回の定期点検により、橋梁の健全性を確認しています。

H22.4.1 現在

県名	橋梁数	1巡目点検	2巡目点検
鳥取県内	459箇所	452箇所	118箇所
島根県内	469箇所	467箇所	88箇所
岡山県内	705箇所	699箇所	287箇所
広島県内	523箇所	516箇所	172箇所
山口県内	815箇所	815箇所	252箇所
合計	2971箇所	2949箇所	917箇所

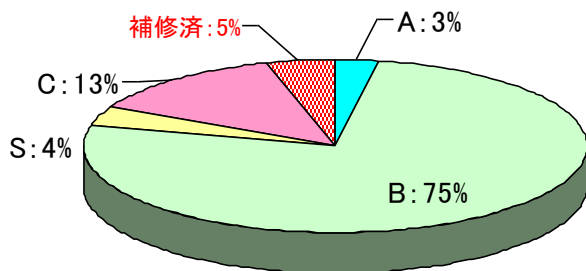
定期点検橋梁数推移図



## 7. 対策区別の橋梁箇所数（H21年度末時点）

当事務所管内では、平成22年4月1日現在、橋長2m以上の橋梁815橋を管理しており642箇所の橋梁の健全性を確認しています。

この点検・診断済みの橋梁815橋のうち、142橋（約17.4%）が速やかに補修等を行う必要がある橋梁（C判定）と判定し、その点検・診断結果に基づく早期発見・早期補修の予防保全対策に計画的に取り組んでいるところです。



H21年度末点検済み N=815 橋

対策区分	判定内容
A	損傷が軽微で補修を行う必要がない
B	状況に応じて補修を行う必要がある
C	速やかに補修等を行う必要がある
E	安全性の観点から緊急対応の必要がある
S	詳細調査の必要がある
M	維持工事に対応する必要がある

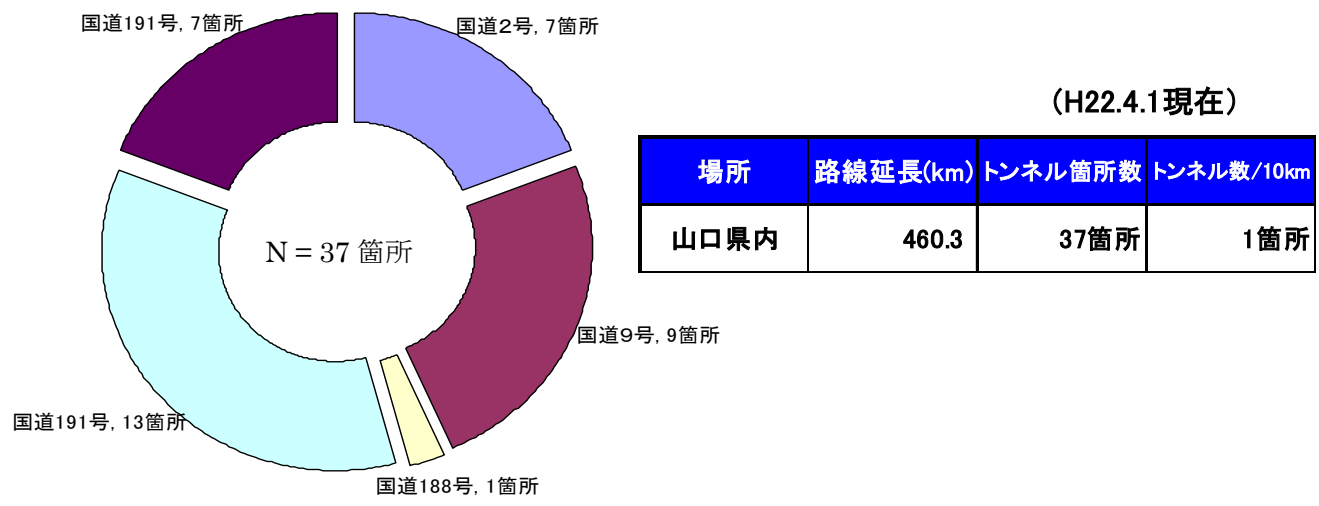
注) C判定橋梁142橋のうち、37橋（約5%）は補修済み又は補修工事中

※ 対策区分判定について

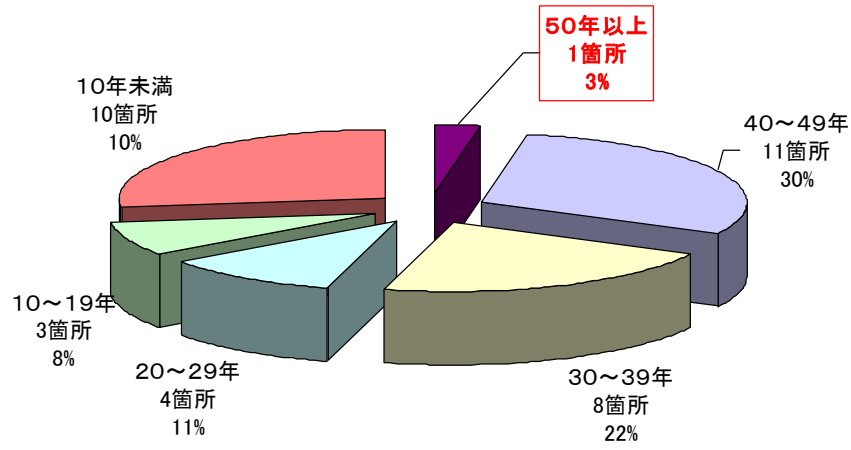
対策区分判定は、橋梁を構成する部材区分（床版、主桁、橋台、伸縮装置等）、損傷の種類（腐食、ひび割れ等）毎に、部材の重要性、損傷の進行状況、環境状況など様々な要因を勘案し評価しています。

# 山口河川国道事務所管内のトンネルの現況（参考資料）

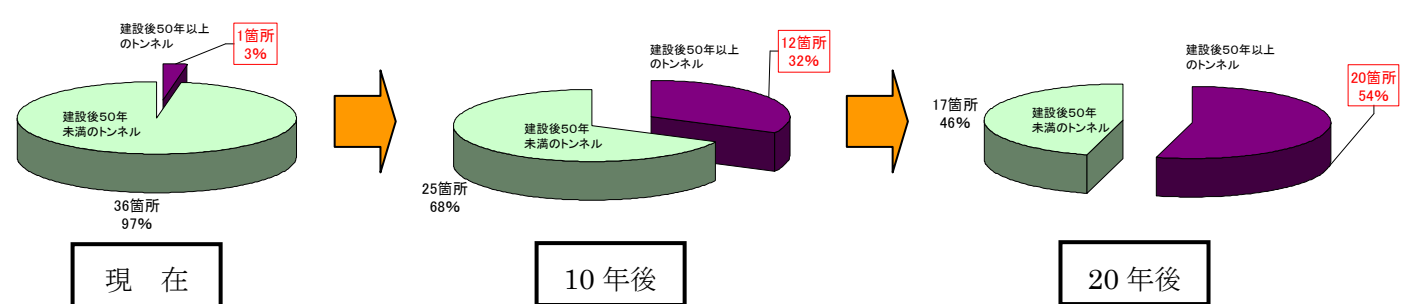
## 1. 山口河川国道事務所管内のトンネル箇所数



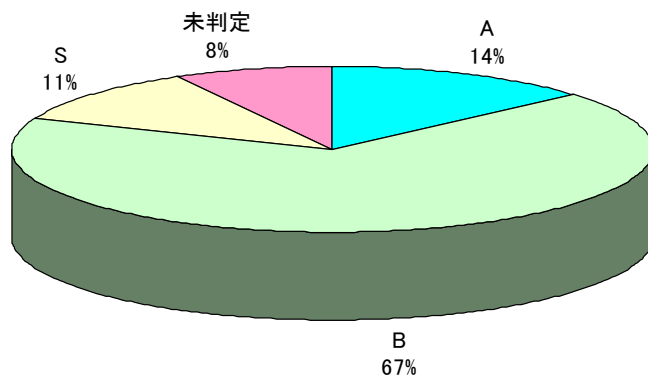
## 2. 経過年数別トンネル箇所数



**建設後50年以上のトンネル箇所数  
現在3%→20年後54%**



### 3. 対策区別のトンネル箇所数（H21 年度末時点）



H21 年度末点検状況 N=37 箇所

対策区分	判定内容
A	利用者被害の可能性がある変状
B	利用者被害の可能性が低い変状 今後変状が進行すると利用者被害の可能性があるもの
S	変状が無い、または軽微な変状がある 応急措置(叩き落とし等)により利用者被害の可能性が無いもの